

船橋非常通信連絡会ニュース

★ホ、ア、ミティング★ 432.76MHzにて

第25号

★常用周波数★(MHz)432.76

毎土曜 22:00～, 毎日曜 10:00～

[SEP/2003]

145.76, 1295.76, ビーダ1292.72

混信なら DownQSY, 20KHz づつ 432.56MHz まで

JJ1YNA H.P <http://www.jarl.com/jj1yna/>

- 平成15年船橋市総合防災訓練 報告
- 防災訓練を終えて JA1QC
- 防災訓練説明会
- 習志野台地区合同防災訓練
- 第1回 ネットワーク構築テスト結果
- 第2回 技術講習会のお知らせ
- 第2回 ネットワーク構築テストのお知らせ
- 第1回 移動運用のお知らせ
- 第3回 技術講習会のお知らせ
- 入会 退会 他
- 電波伝播の極意 JA1VRZ
- 防災一口メモ
- 編集後記 JS1IWA JK1PIK

船橋市総合防災訓練報告

平成15年度船橋市総合防災訓練は、8月31日(日)に市内55小学校避難所と1中学校避難所で各自治会が主体で行われました。

連絡会もこの訓練に参加協力して、配置訓練およびアマチュア無線による情報伝達訓練を実施しました。

災害対策本部の本部統制局はJR1YUXが担当、JJ1YNAは合計60局が地区本部の5消防(分)署と、小学校避難所42ヶ所に配置に付き、移動局を設置し通信票を用いた情報伝達訓練を行いました。

今回の訓練は実際の災害発生時を想定して、ハンディ機を使用することを原則にして、移動にも出来るだけ自動車を使わないなどの、条件で行いました。

なお、配置に当たっては地区統制局の判断と指示で、本番災害時に担当される避難所以外の場所を、受け持ってもらった局もありました。訓練実施場所と参加局数との関係もありますが、移動された局はご苦労様でした。

当日は朝のうち小雨がぱらついた所も在った様ですが、幸い時間とともに快晴となり気温も上がる中、各局は伝達された情報を必死で書き取り、班長さんのサインをもらったり、報告文の発信や転送などの訓練に

汗を流しました。また同時刻に柏市でも防災訓練が行われ、柏市の非常通信訓練に協力して、QSOした局もありました。

会場によっては協力局表示ボードを見て、地区住民の方から連絡会の組織や主旨について質問があったり、市の職員と間違えられたりがあった様ですが、皆さんが適切に対応して下さいました。

訓練終了後に飯山満公民館で行われた反省会には、37名もの多数が出席されて、通信票の記入について読み上げの速度をゆっくり繰り返して欲しいとか、地区統制局は輪番交代制にして、皆が体験するように



して欲しい（昨年も提案あり）、各避難所での移動局の設置場所の現実についての報告など、今後の本番災害時の参考になる意見が出され、討議されました。

また、地域の新聞から連絡会について取材があり、会長らに対応しました。いずれ我々の活動が記事になることでしょう。 JK1PIK

総合防災訓練を終えて

JA1QC

訓練日当日は例年の暑さを忘れる、爽やかな訓練日和でした。

会員65%のご参加を得て、例年とは違う緊張感の中、会員が自主的に早朝より訓練に参加下さった事に、改めて感謝申し上げます。訓練終了後も多くの会員が、反省会にご出席下さり貴重なご意見を、聞かせて頂きました。

今回の訓練は訓練方式が変わって5回目で、一連の訓練の仕上げに相当するものでした。

過去の訓練とは異なり、かなり強引な設定にも関わらず、会員各位の判断で整然と訓練が行われました事は、担当役員として、大変ありがたい事でした。

初めてや、暫くぶりの参加会員には、とまどう場面も多々あったかと思います。

反省会でのご意見を参考にして、通信マニュアルの追補版の作成を計画していますが、マニュアルには記載されていない部分を中心に、担当からの提案を含めて記述します。

この記事は訓練にご参加下さった会員はもとより、今回ご都合で参加出来なかった方も参考にして頂き、不幸にして災害が発生した時には、会員の総力で奉仕が出来る様に、補足資料として下さい。

出動の目安

地震の体感からグラットネットでの、会員同士の交信から判断しよう。

停電、家屋の損壊、火災の発生、家族の安全などを確認後、自己判断で避難場所に向かう

交信装備を持ち、家族と避難場所に向かう、この間もメンバー間で交信し、連絡を取り合う

道路の損壊や通行制限などから、自動車での移動、避

難は考えない。

位置に就く

避難場所で行政職員と接触し班長の指示に従う、職員未着の場合はその間立場と職務を認識し、統制局の指示を受け行動する

避難所担当の重複時は、地区統制局もしくは他の避難場所に、自ら進んで移動展開する

日ごろから率先して地区統制局を、担当される局を大歓迎

地区別協力体制

会員は地区毎で互いに協力し合い、他地区への応援依頼は再对本部の指示に従う

使用周波数

地区毎に相談し他地区との干渉の無いよう、地区統制局がコントロール（訓練時の割り振りを参考にされたい）

通信文の読み書き

通信文の伝達は、受け手が記載出来る速度を考え、ブレイクタイムをとりながら正確に

通信票の処理

通信に使用した通信票は、報告のため保存し各自事務局に提出する（訓練とは異なる）

（通信票は行政無線機の近くに配備する様、要請してあります）

反省会では出なかったご提案、質問、反省点がありましたら、担当役員のみならずお近くの役員にお聞かせ下さい、役員会で再度意見交換し、補充マニュアルの作成に役立てます。更なるご協力を頂ける様、期待しています。

習志野台地区合同防災訓練

6月8日習志野台8号公園で、恒例の地区合同防災訓練が行われました。連絡会でも毎年連絡会行事として、参加していますが、この訓練は今年で第14回となる歴史のあるもので、周辺4町会の374名が参加するなど、地域に定着しています。

船橋市からも起震車、煙中避難体験、消防署からの初期消火訓練、救急訓練として心肺蘇生法、三角巾操法、119番通報訓練の他、町会の給水、給食訓練でおにぎりが配られるなど、多彩な内容でした。

連絡会では近隣在住の会員有志が参加して、アマチュア無線の公開運用を行い、又、山本会長が参加市民に対して、アマチュア無線による非常通信の説明や、

連絡会の活動と役割について解説するなど、連絡会のPR活動を行いました。

公開運用ではHFでDXを稼ぐ局や、UHFでのQSOを楽しむ局、会場からオンエアミーティングに参加する局など思い思いのスタイルで運用し、応援に駆けつけた局も交え、和やかな交流場面もありました。

訓練終了時には、給食訓練の炊き出しによるおにぎりを頂戴して、解散となりました。

参加局：JA1QC, JA1BWA, JA1VRZ, JH1DYW, JE1FTN, JK1CZD, JK1PIK, JK1TUJ, JL1GYB, 7L3UQW, 7L4JUO, 7M4NBV, 7N4WOU

J K 1 P I K

第1回ネットワーク構築テスト結果

6月22日に行われた今年度第1回のネットワーク構築テストですが、今回も50MHz～1200MHzのバンドで運用されています。

複数のバンドで運用された局長さんは、参加者の約半数でした。災害時には単独バンドでのQSOは、地域状況、混信などを考えると不可能な場合もありうるので、多くのバンドでの訓練も必要と思われます。

今回の参加者は18局（提出ログに抛り集計）ログ

提出局16局、となっています。今年度の賞品には会員局からの提供で、デジタルカメラなどを用意してあります。

より多くの参加局、そしてログの提出をお願いします。

参加局：JK1PIK, JJ1GRK, 7L1FYS, JH1MQC, JL1GYB, JG1DVY, 7M2AWK, JA1VRZ, JA6AZE, JH1APY, 7K1EYD, JA1XQC, 7N2FFU, JF1XPH, JH1DYW, JS1IWA, JN1QKR, JH1TVY.

(順不同)

J A 1 O Q X

第2回技術講習会=自作品発表会

昨年好評だった自作品発表会を毎年の行事にしようと、今年も計画しました。

各局自慢の無線とか防災に関する自作品（市販品の改良もOK）を持ち寄ります。発表資料（回路図、形状寸法図、製作要点など）を20部ほどご用意願います。

当日は作品の製作苦労話、自慢話、性能効果などを1品15分程度で発表して頂きます。

見学（ヒヤカシ）だけでも大歓迎です。

日時： 9月28日（日）13:00～17:00

場所： 飯山満公民館集会室

担当： JH1DYW（代表）

J H 1 D Y W

第2回ネットワーク構築テストのお知らせ

本年度第2回めのネットワーク構築テストを、下記要領で実施致しますので、より多くの皆様の参加とログの提出を期待します。

残念ながら毎回のことですが、ログの提出が良くありません。ログの提出が終わって構築テストの参加が終了します。中途半端はやめて、必ず提出をお願いします。

- 1) 参加資格：市内在住の当連絡会員局、但しYUX会員局は市外在住局も可
- 2) 日時：平成15年9月21日(日) 10:00~11:00
- 3) 場所：自宅、近隣指定避難所、その他
- 4) 設備：固定機、ハンディ機、車載機
- 5) 周波数：432.76±40KHz, 1295.76MHz, (50, 144については適宜設定のこと)
- 6) 得点：自宅固定器からは、1交信につき1点、屋外でハンディ機からは1交信につき2点、屋外ハンディ機からの運用で自地区および隣接地区以外の地区、ならびに市外在住のYUX会員との1交信に対し3点

7) 部門：50, 144, 430, 1200MHz (バンドが異なれば同一局OK)

8) ログ提出先：担当JA1OQX阿部幸司 郵送、FAX, E-mail: jalqxx@jarl.com

9) ログ提出期限：平成15年10月5日 必着

10) 交信方法：

- ①呼び出しはCQフェアネットを前置する
自局のコールサインはフォネティックコードを使用する
- ②応答は信号レポート(メリット)および地区名+町名+指定避難所名を告げる

*ネットワーク構築テストは、アマチュア局なら皆一度は経験がある、コンテスト形式を用いた、楽しみながら出来る交信訓練です。また自宅や担当避難所からの交信可能範囲を把握するなどの、有事に備えてのデータを得ることも目的のひとつです。

ネットワーク構築テストは、唯一賞品の出るイベントですので、是非参加してみませんか？

JA1OQX

移動運用のお知らせ

第1回移動運用

前回の遠距離移動は、筑波山でしたから、今回は千葉方面にしましょう。

都内を通り抜けるのは、基本的に、避けたいと思っています。

鹿野山あるいは、その近辺のロケーションの良いところにしましょう。

日時：10月19日(日) 9時集合、解散18時

集合：東船橋駅 北口広場

基本的に当日集合だけ決めて、あとは無線で話しながら場所を決定するというのはいかがでしょうか。

第2回移動運用

日時：11月30日(日) 10時~12時頃
市内夏見緑地周辺予定

JA6AZE

入会 退会 その他

再入会：7K4QVS 伊藤 友博さん
(西部地区 丸山)
一時退会されていましたが、再入会されました。
今後とも宜しくです。

コールサイン変更：服部 正弘さん 7N2FFU
⇒JA1ETB リハビリのため一旦閉局されたが、思い直して再申請されたところ、上記のコールが届いたそうです。

複雑で難しそうに見える事柄も解説者が十分に理解できていれば簡単に説明ができる。聞いている人は何だ簡単でないかと思う。物事を解決しようとしている進行形は難しい。終わったあとで結果を見てからどうだこうだ言うのは簡単である。

1. HF 帯の電波

ヨーロッパや南米と交信するにはどの位の設備が必要だと思いますか？ きっと、八木アンテナに100W ぐらいは最低でも必要と思うでしょう。

実際は1.5mの短縮ホイップアンテナに乾電池のトランシーバーでリマ、ブエノスアイレス、サンパウロ、ブラジルと30分間以上のラグチューが可能です。

ロケーションを海上、防波堤の上、田んぼ等の水面に選べば21MHzを利用すれば可能です。HF帯は水面が一番飛びます。

固定の場合はAVケーブルを15m張ったアンテナに十分なアースやカウンターポイズ(20-30m)をアンテナカップラで給電すれば全アマチュアバンドに出られます。アースが一番重要です。良いアース

を設置すると世界中に電波は飛んでいきます。

2. VHF と UHF 帯の電波

直接波で交信できる範囲は見える距離の3分の4倍の距離に電波は届きます。船のレーダーは100マイルの範囲が見えます。その先は宇宙へ電波が飛びます。

VHF と UHF はアンテナだ無線機だより、ロケーションしたいです。高くて見通しの良い場所が一番飛びます。山頂とか高いマンションのベランダならハンデイトランシーバでも100マイルは簡単です。

いくらアンテナや無線機が良くてもロケーションが悪ければ、どのように努力しようが無駄なことです。それに引き換えロケーションさえ良ければ10Wでも新潟、仙台、三宅島といつでも簡単に交信できます。

私は船橋市内を50年間で湊町、北習志野、大穴、芝山、飯山満と無線のため住所を移動しました。他人が見たらどう思われるかわかっています。

QCさんもBWAさんもXQCさんもPIKさんも良いロケーションに住んでいます。無線マニアとはこんな人種でしょう。私だけでなく良かった。

防災一口メモ

今回は、家族の為のサバイバルバック!です。

この非常持ち出し袋にいれなければいけないモノを考える時、大きく分けて二種類のモノを意識して準備するとよいでしょう。

一つは、家族共通の必需品。

例えば、水や食料、軍手やヘルメットなどです。

もう一つは、個人的に手放せないモノや必需品、嗜好品です。

【水】

人間が1日に必要とする水は、おおよそ3L。それを、3日分準備するとよいでしょう。

非常持ち出し袋には、1~2L程度用意し、残りは「備蓄品」として、別に準備しておきましょう。

【食べ物】

非常食を備える時は、賞味期限前に食べる気になるものを用意しましょう。

非常食にこだわる必要はなく、缶詰やレトルト食品でも充分です。出来るだけ、加熱や調理の必要のない物を選びましょう。

【靴・軍手・ヘルメット】

寝室にはスリッパを!ってよく言いますが、外に出ればやっぱり靴は必要です。

とにかく、災害時には怪我をしないようにすることが重要なのです。

軍手やヘルメットも、無用な怪我から体を守る、重要なアイテムです。

【嗜好品】

ここでいう嗜好品とは、主に甘い物。

チョコレートやキャラメル、キャンディーなどの甘い物は、疲れた体を癒してくれるだけでなく、疲労時の糖分補給にもなり、子供を落ち着かせる時にも、役に立ちます。

【ラジオ・懐中電灯】

災害時には、正確な情報の入手によって、さまざまな判断をしなければならなくなります。

耳からの情報だけでなく、五感をフルに活用することになるでしょう。

暗いところで目からの情報を得る為には、明かりは

必需品です。

【身分証明書】

被災時には、パソコンなどのデータは使えなくなっていることも想定しなければいけません。

そんな時、個人情報を必要とする銀行や公的機関では、やはり身分証明書があると便利です。

血液型や病歴、薬歴を書いたライフブックも役に立ちます。

J S 1 I W A

第3回技術講習会＝製作大会

日 時：11月16日（日）13：00～17：00

場 所：飯山満公民館

内 容：430MHz用 4エレ八木アンテナおよび超小型アンテナの製作、
安価で実用性のあるアンテナを皆さんで作しましょう。

J H 1 D Y W

編集後記

最大イベントの市総合防災訓練も無事に終了し、ようやく一息ついてと云うか、余韻が納まらない内にと連絡会ニュースを脱稿するべく、頑張っています。

今年の訓練はこの形式になってから、5回目であることから集約として、より実戦に近い高度な訓練を計画しました。意思の伝達がままならず、どこまでやれるか、かなり不安含みでしたが、皆様のご協力ですら無事に乗り切ることが出来ました。

参加された局にはご苦労様でした。参加出来なかった局にも、訓練の内容を知って頂きたく、参加要領などをお届けしましたので、目を通して下さい。

来年はどのような形になるか判りませんが、更に実際の災害時に役立つ訓練を目指したいと思います。

この後YNAのイベントが矢継ぎ早に行われます。こちらの方は親睦と自己研鑽（ちょっと大げさ？）を

兼ねる行事ですので、気楽に参加して下さい。皆で楽しみましょう！！

J K 1 P I K

防災訓練みなさんお疲れさまでした。

防災にちなんで、今回からシリーズものを再開します。毎回、同じことの繰り返しですが、繰り返すことに意義があるので防災関係のホームページから、よさそうなものを毎回ピックアップします。

参考までにホームページのアドレスは、ここをクリックしてください。

<http://allabout.co.jp/family/bosai/>

メールマガジンの配信サービスもあります。結構役に立つ情報が満載されていますよ。

J S 1 I W A

発行：船橋市アマチュア無線非常通信連絡会・船橋市アマチュア無線クラブ J J 1 Y N A

「連絡会ニュース」編集部